

防災に関する話し合いを行う

実施に向けて	気の合う役員同士や地域のちょっとした集まりの中で“防災や災害について思うこと”など、簡単な意見交換を行うことで、より地域住民の求めるテーマに沿った活動へとつながります。
必要なもの	●テーマ（話題） ●メモ ●テーマに応じた資料・映像（地域の自治体や消防署などにお問い合わせください）
対象者	●自主防災組織の役員 ●地域住民（特に防災に関心の高い人など）
お問い合わせ	●活動の相談：広島県自主防災アドバイザー制度（消防保安課：082-513-2790）

STEP 1 話し合いのテーマを決めます

テーマや日時などを決め、参加者の声掛けを行います。町内会の集まりなどに合わせて行うことも有効です。防災は「地域づくり」の一つです。様々なテーマを基に話し合うことで、地域防災力の向上にもつながります。



■話し合いテーマ（例）

- ・災害時に有効な連絡方法、連絡網の見直し
- ・避難経路の見直し
- ・避難情報の種類や収集方法に関する勉強 など

STEP 2 必要に応じて資料などを用意します

テーマに沿った資料や映像などが必要な場合は、地域の自治体や消防署などに相談してみましょう。災害についてまとめた冊子や、災害発生時の映像などを借用することができます。話し合いにアドバイスが必要な場合は、広島県自主防災アドバイザー制度を活用してみましょう。



STEP 3 話し合いを実施します

決められたテーマに沿い、話し合いを行いましょう。話し合いで挙げられた意見を記録することで、活動の進め方の参考となります。

活動のポイント

- ・まずは自主防災組織の役員や、防災に関心の高い人同士で集まり、自由に意見交換を行ってみましょう。
- ・お互いが思っていることを知ることが大切です。人の意見を否定せず、様々な意見を取り入れ活動に反映していきましょう。

活動事例①：町内会役員会議を利用した勉強会

実施地域	尾道市 吉浦町内会自主防災会
実施日	平成27年8月23日
参加者	町内会役員 約40名
実施概要	町内会の役員会議を利用し、役員の防災意識向上を目的とし「防災講話」を実施した。また、自主防災活動に対する意見を収集するため、アンケート調査も行った。



活動事例②：自主防災会主催の勉強会

実施地域	廿日市市 廿日市地区自主防災協議会
実施日	平成24年11月11日
参加者	地域住民（1町内会） 64名
実施概要	自主防災協議会全体での防災訓練後、協議会に属する自主防災会（町内会単位）が主体となり、訓練で使用した想定災害や各班での避難体制などについて独自の勉強会を実施した。



【活動で困ること】 どのようなテーマで話し合いを行えばよいか分からない。

活動メモ

【改善案】

- 地域で困っていることなど、身近な話題を基に話し合いを始めてみましょう。
- 自治体で公表しているハザードマップ、パンフレット、映像資料などを見るだけでも十分なテーマとなります。必要な資料があれば、地域の自治体に相談してみましょう。